

今、日本が抱えている問題

遠軽町立遠軽中学校 一年 辻山 楠都

まず、税金には国に納める「国税」と、地方に納める「地方税」があります。国税には消費税、相続税、法人税、贈与税、所得税、酒税などがあり、地方税には、地方消費税、個人住民税、法人住民税、自動車税、入湯税などがあります。

これらの税金は私たちのために色々な所で使われています。国の主な税の使い方は、健康や生活を守ったり、国道や高速道路・街の整備、国の防衛、借金返済・利子の支払いなどです。地方の主な税の使い道は、福祉の充実や教育の充実、道路、街の施設や設備を整えたりと、さまざまな分野の活動や取り組みに税金を使うことで、私達が健康で安心して快適に暮らすことができます。

しかし、今とても大きな問題があります。それは、生まれてくる子どもの数が減り、お年寄り（六十五才以上の高齢者）が増えていく「少子高齢化」です。今、日本では少子高齢化がこれまでにないスピードで進んでいます。つまり、働いて税金を納める世代は減っていくのに、病気やケガをなおすために使う医療費や、お年寄りや体が不自由な人の暮らしを支える費用にも税金が使われているため、それらの費用が不足していきます。

二〇〇〇年には三・六人で一人のお年寄りを支えていましたが、二〇二五年には一・八人に一人の割合になり、二〇五〇年には一・三人の働き手が一人の高齢者を支えることとなります。このままでは厳しい社会が訪れて、私たちの生活がとても大変なことになるかもしれません。

ですから、私たちがこれからも楽しく安心して暮らせる社会にするために、一人ひとりが税金のことについて、考えなければなりません。税金は、私たちの生活を支える大切なものです。その大切なものが、今バランスをくずしかけています。このままだと、私たちのために使えるお金が少なくなってしまうです。税金が何のためによれくらい使われるべきか、しっかり考えなければいけません。

私はこれまで、なぜ消費税を払わないといけないのか、全くわかっていませんでしたが、困っている人を助けたり、いつも何気なく払っている消費税が、私たちの生活を支えていると知ることができました。

しかし、今のままでは私たちが高齢になった時の生活が、十分に支えられないかもしれません。税金のシステムを変えていくことが必要だと思います。

私が成人を迎えたら、選挙に行き、私たち国民が暮らしやすくしてくれる人に票をあげたいです。